

2月園だより

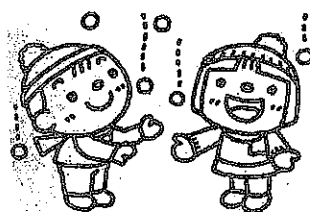
寒さも一段と厳しくなっている今日この頃ですが、子どもたちは寒さを吹きとばし元気いっぱい遊んでいます。「春に向かって大きくジャンプ」そんな気持ちがわいてきます。

1人ひとりが自分らしさを発揮し友だちとかかわる楽しさを味わいながらいろいろな経験を重ね大きく成長している子どもたちです。

進級、卒園まであとわずかです。素敵な思い出をたくさん残せるように楽しく過ごしていきたいと思っています。

行事予定

4日(火)	お誕生会…2月生まれのお友だちをお祝します。
10日(月)	避難訓練(不審者想定) 保育料他振替日 ※残高確認をお願いします。
11日(火)	建国記念の日(祝日)
12日(水)	すみれ組卒園記念写真撮影…10時
18日(火)	身体測定…すみれ組・たんぼぼ組・さくら組 ※衣服の記名の確認をお願いします。 すみれ組 山口小学校訪問…9時20分に園を出発します。 ※9時10分までに登園して下さい。(制帽・名札忘れずをお願いします。)
19日(水)	身体測定…ひまわり組・もも組・うめ組 ※衣服の記名の確認をお願いします。
20日(木)	和歌山市より出前講座…14時より 環境紙芝居と園庭でのごみ収集車(パッカー車)の見学をします。
23日(日)	天皇誕生日(祝日)
24日(月)	振替休日(祝日)
27日(木)	音楽講師 水崎先生来園(たんぼぼ組指導) 10時~15時 ※たんぼぼ組は、体操服・カラー帽子で登園して下さい。
17日(月)~21(金)	すみれ組個人面談…申し込み済みの保護者様のみ
◎すみれ組・スイミング…3日(月)・10日(月)・17日(月)の3回です。(月謝は、2,640円です。) ・英語あそび…毎週水曜日 11時より ・ペン習字…毎週金曜日 11時より ◎たんぼぼ組・ペン習字…毎週金曜日 10時より ◎3月のお誕生会は、3月4日(火)の予定です。 ◎卒園式は、3月25日(火)10時からの予定です。 年長児と年長児の保護者の参加です。詳細については後日お知らせします。その他のクラスは通常保育です。	



お知らせ

4月	《保育園部》	《幼稚園部》
1日(火)	新学期準備のため休園	新学期準備のため休園
2日(水)	希望保育…事前申し込み園児	一時預かり保育…事前申し込み園児
3日(木)		
4日(金)	令和7年度 入園式 保育始め(在園児…通常保育)	一時預かり保育…事前申し込み園児



節分



2025年の節分は、2月2日(日)となりますので、こども園では1月31日(金)に豆まきを行います。心の中の泣き虫鬼・怒りん坊鬼・いやいや鬼を追い払い、たくさんの福を呼び入れ、一年の健康を祈りたいと思います。

各年次、手作りのお面が出来上がりました。豆は新聞紙を丸めて作りました。節分の豆まき会では「鬼は外、福は内」と元気な声が響きわたる事だと思います。お面を持ち帰りますのでお家でも豆まきを楽しんで下さい。

すみれ組

《卒園記念写真撮影について》

★2月12日(水) 10時

こども園生活も残り少なくなってきました。みんなの成長した姿を大好きな友だちや先生と一緒に思い出の一枚を撮影します。

・服装：冬の制服(制服のボタンや名札がついているか確認をお願いします。)

白の靴下 *長さは自由
*レース・ワンポイント可

《すみれ組 個人面談について》

日時：2月17日(月)~2月21日(金)
16時 ~ 17時

ご家庭での様子や園での様子、就学前で何か気になっている事などをお話して下さい。(申し込み済みの保護者様のみ)



たんぼぼ組

来年度(すみれ組)のペン習字は、毎月「書の友」へ出品します。出品に際し「書の友」「硬筆用紙」が必要になってきますので、下記代金を2月の保育料他と合わせてゆうちょ銀行から振替させていただきます。

*「書の友」…420円×12ヶ月=5,040円

*「硬筆用紙」…165円(税込)×10冊=1,650円

合計 6,690円

ひまわり組・さくら組・もも組

新年度の購入用品の持ち帰りがありますので、2月5日(水)までに袋(用品が入る大きさ)に名前を書いて持って来て下さい。(たんぼぼ組・うめ組は、絵本入袋に入れて持ち帰りますので袋は不要です。)

保育のワンポイントアドバイス

～みんな違ってあたりまえ～

活発だったり、物静かだったり、子ども一人ひとり、個性もっています。これは、生まれた時からあるもので「育て方」だけで作られるものではありません。気難しい子どもや、マイペースな子どもは手がかかると感じられるかもしれませんが、でも、気難しさや激しさは「感受性の豊かさ、鋭さの表れ」です。ゆっくりなのは「慎重さやおおらかさの裏返し」でもあります。

他の子どもと比べることなく「この子らしさ」「この子の良い所」と受け止めてあげましょう。子どもは自分らしさを大切にされ、受け止めてもらうことで自信が付き、力を最大限に発揮することができるのです。

